

1 上下水道局平成24年度の予算編成について

(1) 基本的な考え方

水道料金及び下水道使用料については、景気悪化の影響による減収傾向が今後もしばらくは続くと思込まれます。一方、上下水道事業は平成24年に下水道供用開始100周年、平成26年に水道給水開始100周年を迎えようとしており、浄水場・配水管などの水道施設及び水処理センター・下水管などの下水道施設の老朽化や地震対策、また緊急雨水整備事業をはじめとする浸水対策や高度処理による水環境の向上など、安定的な事業運営のために早急に取り組むべき課題が山積しています。

このように上下水道事業を取り巻く経営環境は非常に厳しいものがありますが、引き続き行財政改革をすすめ経営基盤の強化に努めます。

(2) 主要事業

①浄水場や配水場などの整備・改良（水道事業）

創設期から100年近くが経過している鍋屋上野浄水場緩速ろ過池及び東山配水場2号配水池をはじめ、老朽化した浄水場や配水場などの施設を整備改良し、おいしい水を安定的に供給するとともに、地震等災害に対する安全性の向上をはかります。

②配水管の布設替及び耐震化（水道事業）

老朽化した配水管の布設替及び耐震化をはかるとともに、救急病院や透析医療機関などの重要給水施設に至る管路の耐震化をすすめます。

③下水道未整備地域の解消（下水道事業）

下水道未整備地域の解消のため、庄内川西部地区、志段味地区及び桶狭間地区等において、区画整理事業等との整合をはかりながら、引き続き下水道の整備をすすめます。

④大雨からまちを守る施設の整備（下水道事業）

平成12年9月の東海豪雨や平成20年8月末豪雨などにより著しい浸水被害が集中した地域及び都市機能の集積する地域において、引き続き雨水貯留施設の建設等を推進します。また、その他の地域においても雨水調整池の整備及び雨水排水ポンプの増強をすすめます。

⑤老朽化した下水道施設の改築更新（下水道事業）

老朽化した露橋水処理センターの全面改築や、老朽化の著しい宝神汚泥処理施設に替わる施設として空見スラッジリサイクルセンター（仮称）の施設整備などをすすめます。

⑥水環境の向上（下水道事業）

汚れの度合いが高い降り始めの雨水を一時的に貯留する雨水滞水池の設置や河川へのごみの流出を防止する下水道の雨水吐口へのごみ除去装置の設置などを実施し、河川へ放流する雨水の水質を改善します。また、河川や海の水質保全のため主に窒素・りんを多く除去できる高度処理施設の整備をすすめます。

⑦経営の効率化（水道事業・下水道事業）

営業所の所管業務を見直し、集約化をすすめることや、管路管理体制を見直すことなどにより、業務の効率化をはかります。

(3) 新規・拡充事項

(水道事業)

(単位：百万円)

番号	事項名	概要	平成 23年度 予定額	平成 24年度 予定額
1	犬山取水場施設整備 工事	施設管理の効率化をはかるため、 春日井浄水場からの一体的な管理 に向けた、犬山取水場の整備	630	716
2	大治浄水場本館建替 工事	耐震性のない大治浄水場本館の建 替工事	—	669
3	鍋屋上野浄水場旧第 一ポンプ所耐震補強 工事	歴史的建造物である鍋屋上野浄水 場旧第一ポンプ所の保存工事（耐 震化）の実施	—	137
4	管路管理体制の見直 しに伴う事務所の整 備	配水管と下水管の効率的な管理と 業務の集約化に向けた事務所の整 備	151	804

(下水道事業)

(単位：百万円)

番号	事項名	概要	平成 23年度 予定額	平成 24年度 予定額
5	老朽化した下水管の 改築更新	「下水管路調査改築計画」に基づ き、調査を行い、その結果を踏ま え、緊急性の高い箇所から計画的 に改築更新を実施	7,455	9,184
6	下水道科学館の展示 物の更新	日頃、目に触れない下水道の役割 を広くお客さまに知っていただく 施設である下水道科学館の老朽化 した展示物の更新	—	57

(4) 平成24年度水道事業会計予算

①収益的収支

(単位：百万円)

区 分		平成24年度 予 定 額	平成23年度 予 定 額	差 引 増 △ 減
収 入	給 水 収 益	46,119	47,331	△ 1,212
	そ の 他	4,042	4,391	△ 349
	計 (A)	50,161	51,722	△ 1,561
支 出	維 持 管 理 費 (うち人件費)	28,447 (9,991)	29,461 (10,329)	△ 1,014 (△ 338)
	資 本 費	20,009	20,198	△ 189
	消 費 税 等	1,552	1,575	△ 23
	計 (B)	50,008	51,234	△ 1,226
A - B		153	488	△ 335

(注) 資本費とは、減価償却費、企業債の支払利息等です。

②資本的収支

(単位：百万円)

区 分		平成24年度 予 定 額	平成23年度 予 定 額	差 引 増 △ 減
収 入	企 業 債	5,000	5,000	—
	出 資 金	246	264	△ 18
	そ の 他	2,189	2,012	177
	計 (A)	7,435	7,276	159
支 出	建 設 改 良 費	18,663	18,510	153
	企 業 債 償 還 金	5,747	6,029	△ 282
	そ の 他	3,009	2,903	106
	計 (B)	27,419	27,442	△ 23
A - B		△ 19,984	△ 20,166	182

(注) 資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、減価償却費等の現金支出を伴わない費用から生じる留保資金等で補てんします。

(5) 平成24年度工業用水道事業会計予算

①収益的収支

(単位：百万円)

区 分		平成24年度 予 定 額	平成23年度 予 定 額	差 増 △	引 減
収 入	給 水 収 益	839	844	△	5
	そ の 他	13	13		—
	計 (A)	852	857	△	5
支 出	維 持 管 理 費 (うち人件費)	325 (25)	326 (25)	△	1 (—)
	資 本 費	461	465	△	4
	消 費 税 等	26	26		—
	計 (B)	812	817	△	5
A — B		40	40		—

(注) 資本費とは、減価償却費、企業債の支払利息等です。

②資本的収支

(単位：百万円)

区 分		平成24年度 予 定 額	平成23年度 予 定 額	差 増 △	引 減
収 入	出 資 金	3	3		—
	そ の 他	10	263	△	253
	計 (A)	13	266	△	253
支 出	建 設 改 良 費	458	503	△	45
	企 業 債 償 還 金	24	49	△	25
	そ の 他	208	198		10
	計 (B)	690	750	△	60
A — B		△ 677	△ 484	△	193

(注) 資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、減価償却費等の現金支出を伴わない費用から生じる留保資金等で補てんします。

(6) 平成24年度下水道事業会計予算

①収益的収支

(単位：百万円)

区 分		平成24年度 予 定 額	平成23年度 予 定 額	差 引 増 △ 減
収 入	下水道使用料	33,270	34,044	△ 774
	一般会計負担金	38,218	38,343	△ 125
	そ の 他	2,054	2,346	△ 292
	計 (A)	73,542	74,733	△ 1,191
支 出	維持管理費 (うち人件費)	25,245 (7,113)	25,362 (7,254)	△ 117 (△ 141)
	資 本 費	46,681	47,384	△ 703
	消 費 税 等	1,434	1,469	△ 35
	計 (B)	73,360	74,215	△ 855
A - B		182	518	△ 336

(注) 資本費とは、減価償却費、企業債の支払利息等です。

②資本的収支

(単位：百万円)

区 分		平成24年度 予 定 額	平成23年度 予 定 額	差 引 増 △ 減
収 入	企 業 債	25,950	32,010	△ 6,060
	国庫補助金	11,996	12,238	△ 242
	そ の 他	1,152	1,203	△ 51
	計 (A)	39,098	45,451	△ 6,353
支 出	建設改良費	46,165	46,966	△ 801
	企業債償還金	31,262	38,055	△ 6,793
	そ の 他	80	277	△ 197
	計 (B)	77,507	85,298	△ 7,791
A - B		△ 38,409	△ 39,847	1,438

(注) 資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、減価償却費等の現金支出を伴わない費用から生じる留保資金等で補てんします。